

樫谷議員 おはようございます。通告してありました2点について質問します。まず、大川橋より堤防の嵩上げは考えているのかについてお聞きします。南海・東南海巨大地震を踏まえ、まだ嵩上げされていない東の堤防は、私が幼少の時すでにあった堤防ですから、かなり古い堤防です。嵩上げと質問していますが、一からやり直さなければならぬ大事業となります。当然、牟岐町の工事ではなく、県の港湾の仕事となると思います。しかし、町民の命と財産を守るのは、牟岐町の大きな役目です。そこで、国土強靱化を踏まえ、県に要望していく。要望しないものは向こうから、どうぞとは言ってくれません。まずは、牟岐町が発信しなければ、この事業は動きません。最近の地球温暖化に伴う、豪雨災害、異常気象にも備えて、南海トラフ巨大地震の来る前に、早期の堤防整備をお願いするものです。そのための牟岐町として、町民の命を守る陳情、要望を今後、考え進めていかなければならないと思っていますが、町長の見解をお聞きします。次に、瀬戸川合流路の土砂の撤去についてお伺いします。豪雨災害の可能性のある近日、最近、国は、線状降水帯による危機管理を設定しています。これから、予想される豪雨災害を踏まえ、瀬戸川のあちらこちらに見られる土石の撤去、特に合流路の土石の撤去をお願いするものです。川の水がスムーズに流れることにより、川の氾濫を防ぎ、これからの夏の季節の蚊の媒介にも役立ちます。以上のことから、一刻も早い、瀬戸川の土石の撤去をお願いするものです。以上、2点について、答弁をお願いします。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 おはようございます。樫谷議員の大川橋より東の堤防の嵩上げは考えているのか。についてのご質問にお答えします。樫谷議員ご指摘の大川橋より東の堤防については、徳島県管理の牟岐漁港の海岸保全施設となっています。当該施設を含む牟岐漁港につきましても、平成14年度から、順次、南海地震の津波対策として、護岸工事、水門及び防波堤の整備、臨港道路の整備や岸壁の耐震化などが実施されてまいりました。徳島県へ今後の進捗見込を問い合わせたところ、当該施設は、「徳島県海岸保全基本計画」において、避難時間を確保するために必要な堤防等の高さを整備する。段階的な施設整備を進める箇所として選定されていること。また、ご指摘の施設は、牟岐漁港海岸「牟岐地区」の整備計画として、すでに採択済みの地区内にあり、地区内の一部は陸

閘が完成していること。ただし、ご指摘の牟岐川左岸側の区間につきましては、現時点では具体的な整備時期は決まっておらず、今後、着手時期・構造を含めて総合的に検討していく予定との回答がありました。牟岐町としましては、徳島県と共に、地元の自治会や漁協をはじめ、関係者と協議を進めるとともに、県が実施中の漁港事業の進捗も見据えつつ、ご指摘の海岸施設の早期事業着手に向けて、県へ要望してまいりたいと考えています。次に、瀬戸川合流路の土砂の撤去をについてのご質問にお答えします。河川に堆積した土砂の撤去については、災害発生時の被害を未然に防止するため適切な管理をすることが重要であります。このため、流れを阻害するような箇所がないかパトロールを行っています。支流については、牟岐町管理になるため、牟岐警察署東側の本流との合流地点より、牟岐警察署南側から国道をくぐり、JRまでの土砂の撤去は5月末に行っています。本流については、県管理となっているため、牟岐警察署東側の支流との合流地点から八坂橋下流の土砂の撤去については、徳島県南部総合県民局、県土整備部美波庁舎へ対応を依頼しています。以上です。よろしく申し上げます。

一山議長 榎谷議員。

榎谷議員 答弁、ありがとうございます。1番のところですが、一番最初のところですが、大川橋より東の堤防、このことについては、このところ、牟岐町の10年ぐらい表敬訪問をされていません。陳情、これを早く進めて、県の方に陳情に行くように、ぜひ進めていただきたいと思います。もう一つの方の瀬戸川の合流のところですが、5月にできていると言っていましたけど、まだできていないという状態です。確かめた状態では、撤去できていません。だから、もう一度、再度見ていただいて、撤去していただくようお願いしたいと思います。そして、これは言ったからするのでなくて、定期的に、この時期に毎年やっていただきたいと思います。それほど、土砂が合流地点に溜まるのです。どこから来るのか知らないけども、あそこに溜まるのです。毎年、定期的にやっていただきたいと思いますので、その旨、お願い申し上げまして、私の一般質問を終わらせていただきます。